

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奥州市	代表者名	小沢 昌記
担当者部署	総務企画部総務課情報政策室	連絡先電話番号	0197-34-2194
担当者役職		担当者氏名	
住所	023-8501 岩手県奥州市水沢大手町1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大澤 昌
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	複数団体共同でのRPA導入の検討のためにアドバイスを受けたが、その前提となる自治体クラウドでの問題点や、業務標準化の手法等も含めてアドバイスいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月24日	14時00分	16時30分		150
3-2. 派遣場所	会場名	北上市生涯学習センター		最寄駅	JR北上駅
	所在地	岩手県北上市大通一丁目3番1号 おでんせプラザぐろーぶ3階			
	最寄駅からの交通手段	徒歩1分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	定住自立圏構成団体共同でのRPAの取組みは、システムが団体ごとに違うため、現時点でのRPAロボットの共同利用はできないが、RPAツール自体はクラウド等で共同利用の可能性があるので今後検討したい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	共同利用できる部分の検討と、RPA導入後の運用マニュアル等を共同で作成することを目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・自治体クラウドで顕在化した問題 ・RPA普及の背景 ・RPAシナリオ作成のための業務フロー作成手法 ・RPAの課題とリスク ・業務統合による業務改善の考え方 等	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	RPAシナリオ作成のための業務フロー作成手法やRPA導入後の運用面の課題が明確になり、開発・運用マニュアル等作成の参考になると思う。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	RPAの共同利用の手法	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 少人数で討議しながら行ったので、アンケートの必要はなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

